

平成 30 年 9 月 6 日
日本工学院専門学校

学校関係者評価結果

学校関係者評価委員会会議の中で本校の行った平成 29 年度自己点検の評価についてすべての項目において了承を得た。評価委員からの主な発言は次のとおりである。

- ・日本の教育制度で新たに専門職大学が来年度より開校する。専門学校のトップリーダーとして邁進されている貴校ですが、時代の要求に速やかに舵を切ることにも必要ですが、根本となる技術者育成の概念は今後も変わることなく、学生に伝えていかなければならないものと思う。そして、教育設備のハードウェアと教師のソフトウェアが両輪となって学生が更なる成長、日本の技術者が社会貢献していく太い柱となることに期待している。
- ・保護者の経済事情により勉学継続が困難となった学生に対する支援制度を早期に確立すべきである。その原資としては片柳アリーナ等、学園施設の外部利用料の内一定率を充てることとし、利用者にも明示すべきである。
- ・“教育機会の多様化”、“生涯学習”、“学び直し”の観点からも、夜間講義の再開を望みたい。
- ・学生のキャンパス利用の融通性を高めるべきである。部活・サークル活動は、卒業生のリーダーシップ能力を高める有効な場となる。例えばロボットの開発、最近注目の AI を実践するには授業のみでは不十分である。こうした観点から、各学科に関連するテーマの部活を奨励すべきである。それには、土日のキャンパス開放時間を現行夜 7 時閉館時間を 10 時位迄に延長することが望まれる。
- ・これからは産・学・官連携が必要大であり、社会の要請に応えるべく広範囲な分野の専門家を養成する努力に教職員を高く評価したい。
- ・教育活動、学生支援、教育環境は、十分高く評価できる。
- ・本学園は社会・地域貢献が良く出来ている。

以上

平成 30 年 9 月 6 日

日本工学院専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 桂田 忠明 様

日本工学院専門学校
校長 前野 一夫

平成 30 年度の学校関係者評価委員会において討議された内容をふまえ、次の 4 点について検討します。

1. 教員研修等にて更に一層の教育水準向上を図る。
2. 人間力育成教育を更に強化する。
3. 施設、設備の効果的な活用。
4. 経済事情により勉学継続が困難な学生に対する支援策。

以上

学校関係者評価表(平成30年度第1回学校関係者評価委員会)

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1	平均点
(1)教育理念・目標	4 3 2 1	4.0
(2)学校運営	4 3 2 1	3.8
(3)教育活動	4 3 2 1	3.8
(4)学修成果	4 3 2 1	4.0
(5)学生支援	4 3 2 1	3.8
(6)教育環境	4 3 2 1	4.0
(7)学生の受入れ募集	4 3 2 1	4.0
(8)財務	4 3 2 1	4.0
(9)法令等の遵守	4 3 2 1	4.0
(10)社会貢献・地域貢献	4 3 2 1	4.0
総 合	4 3 2 1	(1)～(10)平均3.9 総合の平均4.0

全体に対するコメント(抜粋)

- ・(5)学生支援 の評価について「3」としているが、全てが「4」にする事よりも今後の課題を示している評価として捉えて頂きたい。
- ・日本の教育制度で新たに専門職大学が来年度より開校します。専門学校のトップリーダーとして邁進されています貴校ですが、時代の要求に速やかに舵を切ることも必要ですが、根本となる技術者育成の概念は今後も変わることなく、学生に伝えていかなければならないものと思います。として、教育設備のハードウェアと教師のソフトウェアが両輪となって学生が更なる成長、日本の技術者が社会貢献していく太い柱となることに期待しています。
- ・保護者の経済事情により勉学継続が困難となった学生に対する支援制度を早期に確立すべきである。その原資としては片柳アリーナ等、学園施設の外部利用料の内一定率を充てることとし、利用者にも明示すべきである。
- ・“教育機会の多様化”、“生涯学習”、“学び直し”の観点からも、夜間講義の再開を望みたい。
- ・学生のキャンパス利用の融通性を高めるべきである。部活・サークル活動は、卒業生のリーダーシップ能力を高める有効な場となる。例えばロボットの開発、最近注目のAIを実践するには授業のみでは不十分である。こうした観点から、各学科に関連するテーマの部活を奨励すべきである。それには、土日のキャンパス開放を現行夜7時閉館時間を10時位迄に延長することが望まれる。このキャンパス利用制限の問題は、高尚な本校の「教育目標」と大きく乖離していると思えてならない。
- ・社会人向けセミナーでお世話になっており、受講生の評価も高く大変助かっている。
- ・経済的理由の退学者を出さないような互助の仕組みが出来ると良い。
- ・これからは産・学・官連携が必要大であり、社会の要請に応えるべく広範囲な分野の専門家を養成する努力に教職員を高く評価したい。
- ・(3)教育活動、(5)学生支援、(6)教育環境 十分高い評価できます。
- ・本学園は社会・地域貢献が良く出来ています。

学 校 関 係 者 評 価 表

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1	コメント
(1)教育理念・目標	④ 3 2 1	
(2)学校運営	④ 3 2 1	
(3)教育活動	④ 3 2 1	
(4)学修成果	④ 3 2 1	
(5)学生支援	④ 3 2 1	
(6)教育環境	④ 3 2 1	
(7)学生の受入れ募集	④ 3 2 1	
(8)財務	④ 3 2 1	
(9)法令等の遵守	④ 3 2 1	
(10)社会貢献・地域貢献	④ 3 2 1	
総 合	④ 3 2 1	

全体に対するコメント

これからは産・学・官連携が必要大であり、社会の要請に応えるべく広範囲な分野の専門家を養成する努力に教職員を高く評価したい。

(3)教育活動、(5)学生支援、(6)教育環境 十分高い評価できます。

本学園は社会・地域貢献が良く出来ています。
